未来への心をつなぐパートナー

mirairo

みらいろ

農をはぐくみ地域をつなぐ

2023
12月号
vol.94

特集
❶ 今年の漢字を聞きました！
❷ 福島ユナイテッドFC　農産物PR

JAふくしま未来

JAグループ
耕そう、大地と地域のみらい。

new!

新規就農者紹介

インスタグラムのフォローお願いします！

伊達地区／桑折町伊達崎

表紙の人

相原　楽 さん（23歳）

就農歴：１年目

栽培品目：桃４ha、柿４ha、米１ha

高校卒業後、県内の農業短期大学に進学しました。その後、経験を積むために福島市内の農園に3年間就職し、２０２３年４月に新規就農しました。幼少期から実家である「あいはら果樹園」の桃やあんぽ柿の作業を手伝っており、最近では経営にも興味を持ち始めました。新規就農したことで、より一層明確な目標や夢を見つけることができました。就農1年目で道筋が見えない部分もありますが、何事にも挑戦し経験を積むことを大切にしています。

果樹は木の状態や特徴を把握することが重要なため、個々の木の樹勢を理解し、その木に見合った栽培方法を心掛けています。今年は霜被害や害虫被害が出たことから、次年度に向けて対策を考えていきたいです。また、動画サイト「YouTube」の動画を視聴し経営についての勉強も行っています。

次年度は、主要品目である桃の品質向上を目標にし、消費者からの高い評価を得られるよう取り組んでいきたいです。また、福島の冬の味覚「あんぽ柿」を県内外の消費者に食べてもらえるようなイベントを企画し、あんぽ柿の「ファンづくり」を目指しています。12月からはあんぽ柿の販売が始まるため、今年7月から本格的に始めたインスタグラムや様々なECサイトを活用しPRに力を入れていきたいです。

栽培と経営の勉強に奮闘

あんぽ柿の皮むきをする相原さん　※撮影のため、マスクを外しています

柿を収穫する相原さん

AIHARA_KAJUEN

あいはら果樹園のインスタグラム

Contents

今月の目次

02 新規就農者紹介
04 特集
①今年の漢字を聞きました！
②福島ユナイテッドFC　農産物PR
08 J - FAPと女性部の
かぁちゃん直伝料理
10 みらいろトピックス
16 営農情報
20 生産部会紹介
22 みらいろ作品展
24 元気にすくすく「みらいっ子」
25 自己改革通信／食農学類探訪
26 直売所ナビ
27 はじめよう健活／なくそう食品ロス
28 ドローンで見るふくしま未来
30 クロスワード
31 あなたもチャレンジ家庭菜園
32 みら☆スタ

今年の漢字を聞きました！

2023年も残り1ヶ月を切りました。今年は、猛暑や物価高など激動の1年でしたが、新型コロナウイルスが第5類に移行したことによる行動制限の緩和など明るい話題もありました。今回の特集では、JAの各組織の代表者の方に「今年の漢字」を聞きました。

梅宮 照彦さん（65歳）

福島市鎌田
福島地区きゅうり専門部会　部会長

栽培品目
キュウリ 70a

漢字を選んだ理由

今年は夏の暑さの影響もあり苗の植え付けができず、さらに 2～ 3 年続いている物価高の影響による資材高騰・燃料高騰でとても苦労しました。ですが今後もみな様に安心安全のおいしいキュウリをお届けできるようにします。

橘内　望さん（39歳）

福島市飯坂町
女性部福島地区
フレッシュミズ部会　部会長

栽培品目
桜桃　26ａ
桃　1.7ha
りんご 1.2ha

漢字を選んだ理由

今年、全国フレミズの会に参加しました。普段出会うことがない方々が全国から集まり、お会いできて素敵な【縁】を感じることができました。

佐藤 孝一さん（68歳）

伊達市霊山町
伊達地区あんぽ柿生産部会　部会長

栽培品目
あんぽ柿　成木130本
キュウリ
桃など

漢字を選んだ理由

あんぽ柿の出荷が始まってから 100 年が経ちました。今年度より、GI産品「伊達のあんぽ柿」として本格的な出荷が開始となります。美味しいあんぽ柿をぜひ皆さんに食べてもらいたいです。

菅野 好子さん（79歳）

伊達郡国見町
女性部伊達地区本部　部長

漢字を選んだ理由

日本だけではなく世界的にも様々なことが動いた年。女性部活動もまた活発になり、たくさんの新しい交流が増えました。

服部 光治さん（83歳）

二本松市米沢字川原田
安達支部年金友の会　支部長

漢字を選んだ理由

組織の力を結集し心を一つにすれば多くのことが可能になります。夢を描き、それを現実のものとしていくよう、共に貢献し合うことを続けてまいりたいと思います。

黒沢 由美さん（58歳）

大玉村大山
女性部安達地区本部　部長

漢字を選んだ理由

今年の５月よりコロナ感染症が第５類へ移行したため、女性部の活動が再開しました。研修旅行、セミナー、大会など再開され出会いも多くなりました。これからも人との接し方など注意しながら出会いを楽しみたいです。

只野 智由さん（43歳）

南相馬市鹿島区浮田
そうま地区種苗部会　部会長

栽培品目
野菜苗　1ha
花苗　50a
ブロッコリー 1ha
など

漢字を選んだ理由

今年の夏は猛暑でパンジーなどの花苗や野菜類の生育不良が相次ぎ栽培に大変苦労しました。家族も暑さで体調不良になるなど「人」や「作物」に大きな影響をもたらしました。

大塚 悦子さん（72歳）

南相馬市鹿島区栃窪
女性部そうま地区本部　副部長

栽培品目
米３ha
など

漢字を選んだ理由

私は、聖徳太子の「『和』を以て貴しとなす」という言葉が好きです。何をするにも人々がお互いに仲良く、調【和】していくためにも、まずは話し合いを行い解決していくことが大切だと考えています。

福島ユナイテッドFC　農産物PR「国消国産スペシャルマッチ」開催！

11月12日に福島市のとうほう・みんなのスタジアムで開催された県のプロサッカーチーム「福島ユナイテッドFC」のホームゲームにて、JAふくしま未来が国消国産をPRしました。また、福島ユナイテッドFCに「吾妻の輝き」新米60キロ、対戦相手の「松本山雅FC（長野）」に新米30キロを贈呈しました。

数又清市組合長が「国内で生産されたおいしい食べ物をたくさんご賞味いただき、生産者を支援してほしい」とあいさつしました。

ハーフタイムでは、JAふくしま未来公式キャラクター「みらいろ4兄弟」vs福島ユナイテッドFC公式キャラクター「福嶋火之助」「赤兵衛」「虎百」によるリレー対決を行いました。

来場者1,100人に抽選でパックごはん「農協ごはん」と「国消国産クリアファイル」をプレゼント！

頑張れ！福島ユナイテッドFC!

抽選で当たった皆さん、あめでとうございます！

販売ブースでは、旬の「りんご」をはじめ、これから旬を迎える「あんぽ柿」、JAふくしま未来6次化商品「桃の恵み」「伊達の蜜桃」などを販売しPRしました。

会場内ディスプレイには、JAグループが作成した▶「国消国産」をPRする動画を投影しました。

東邦銀行×JAふくしま未来　ピーチコラボレーション

ピーチコラボレーションとは

2021年11月に東邦銀行とJAふくしま未来の若手職員を中心に発足したプロジェクトです。

広い視点で、福島県のためにできることを目的に組織を越えお互いに協力し、地域貢献活動を企画・運営しています。

イベント当日にはチラシをお持ちいただいた来場者に県産の脱気米（150g）をプレゼントしました。

ふくしまの『おいしい』『楽しい』届けます！

J-FAPと女性部のかあちゃん直伝料理

vol. 10

JAふくしま未来の農畜産物PR隊J-FAPが、料理のプロである女性部から「次世代に残したい・伝えたいレシピ」を教えていただきます♪

動画公開中

YouTube「みらいろチャンネル」

詳しい調理動画を公開中！

今月のJ-FAPメンバー

紗耶（さや）

今回はJ-FAPの紗耶がそうま地区の会田ツタ江さんに「ごんぼっぱの凍みもち揚げ焼き」を教えていただきました。
私は今回初めて凍みもちを食べました。揚げ焼きなので外側はパリッと中はもちもちの食感でとってもおいしかったです。そして簡単に作れるのでみなさんも是非作ってみてね～

with 女性部クッキング
NOKYO JOSEI-BU COOKING

ごんぼっぱの凍みもち揚げ焼き

材料（2人分）

- 凍みもち（ごんぼっぱ）・・・ 4切れ
- サラダ油 ・・・・・・・・・・・大さじ3

たれ（2種）

①砂糖醤油
- 砂糖 ・・・・・・・・・・・・・・・小さじ3
- 醤油 ・・・・・・・・・・・・・・・小さじ2

②きな粉
- きな粉 ・・・・・・・・・・・・・・・15ｇ
- 砂糖 ・・・・・・・・・・・・・・・・15ｇ
- 塩 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・少々

作り方

❶凍みもちをたっぷりの水に一晩浸します。
❷キッチンペーパーなどでしっかり水分をとります。
❸食べやすい大きさに切ります。
❹フライパンに多めのサラダ油を入れ、中火で凍みもちを揚げ焼きにします。
❺油をきってお皿に盛りお好みのたれをかけます。

POINT

●一晩水に浸した凍みもちは水分が多くなっている為、キッチンペーパーなどでしっかり水分を吸い取ることが大切です。

飯舘総合支部
会田　ツタ江さん

今月紹介する女性部 そうま地区本部

「J-FAPと女性部のかぁちゃん直伝料理」で料理を紹介していただいた女性部員の所属するエリア・支部の活動をご紹介します！

from 女性部トピックス NOKYO JOSEI-BU TOPICS

栃木県で県外交流研修を開催

女性部そうま地区本部は10月21日から２日間、県外交流研修で栃木県を訪れました。

部員 31 人が参加し、日光東照宮で国宝や歴史に触れ、鬼怒川温泉にて入浴を楽しみました。夜の懇親会では食事と歓談、お楽しみビンゴ大会、そしてカラオケ・ダンス披露など大いに盛り上がり楽しいひと時を過ごしました。参加者らはお土産として、益子町の焼き物「益子焼」を購入し栃木県を堪能しました。

5年ぶりの「かあちゃん食堂」出店

11月３日から２日間、そうま地区本部主催の第６回 JAまつりを南相馬ジャスモールにて開催しました。当日には、女性部そうま地区本部の部員約40人が参加し、５年ぶりに手作り料理を振る舞う「かあちゃん食堂」を出店。今回は、きつねうどんとカレーライスの２種類を提供し、昼食時には行列ができるほど大盛況でした。部員らは久々の食堂の出店に喜びを噛みしめていました。

女性部に関するお問い合わせは、総務部地域支援課 TEL 024-573-1004　そうま地区地域支援課 TEL0244-67-2551 まで

11月1日

あんぽ工房みらい あんぽ柿加工開始

▲あんぽ柿の加工作業をする作業員

JAあんぽ柿加工選別包装施設「あんぽ工房みらい」で、2023年度産あんぽ柿の加工作業が始まりました。同施設が稼働して今年で8年目。本年度は、加工数量前年対比15％増の286トンを計画します。施設の菊池洋介センター長は品質について「昨年は一部ほ場で原料柿の変形果が多発したが、本年の生育は順調で品質も良好」と話します。

初日は原料柿「平核無」約5トンの加工作業を実施。2週間程度乾燥させ、県内や北海道・京浜地区に出荷します。原料柿主力品種「蜂屋」は11月中旬頃から加工作業が始まり、12月上旬頃から出荷。ピークは12月中旬から1月中旬頃までを見込んでおり、同施設での出荷作業は2月上旬頃まで続きます。

23年1月31日には「伊達のあんぽ柿」として、特定産地ならではの品質や特徴がある産品の名称を保護する地理的表示（GI）保護制度に登録されています。

▲機械で柿の皮むきをする作業員

11月1日

共選場本格稼働 リンゴ「サンふじ」共選開始

▲サンふじを共選する作業員

福島地区の湯野共選場でリンゴ「サンふじ」の共選が本格稼働しました。2023年度は、22年度の実績を約3,500キロ上回る20万3,500キロの出荷を計画します。

「サンふじ」は同地区のリンゴの8割以上を占める主力品種。JAが運営するリンゴの共選場は光センサーを採用しており、糖度や大きさ、着色が正確に測定され、安定した品質を提供します。

JA営農指導員によると「今年のサンふじは高温の影響で着色が遅れているほ場も見られるが、例年に比べて糖度が高く果実の出来が良い傾向にある。早めに食べてほしい」と話します。今後「サンふじ」は、12月中旬頃まで出荷が続きます。

▲箱詰めする作業員ら

11月11日

秋の実りを体感 第3回みらいろアグリ塾

▲じゃがいもを収穫する参加者ら

株式会社新ふくしまファームで第3回みらいろアグリ塾を開催し、JA管内の親子5組14人が参加しました。同塾は2016年度から開始。子どもたちが自分たちで作った農畜産物を食べることで、農畜産物の消費拡大や担い手育成につなげます。

今回は福島大学サイエンスカフェの学生による洗濯のりでスーパーボールを作る実験と大豆・じゃがいもの収穫を体験し、収穫したじゃがいもは自宅に持ち帰りました。収穫体験した参加者は「大きなじゃがいもが採れてうれしい。自宅で調理して味わいたい」と話しました。

その後、学生らが栽培した新米を使ったご飯と芋煮が振る舞われ、参加者は食と農について学びました。第4回は1月に開催予定で、今回収穫した大豆を使用した豆腐作りを予定しています。

▲スーパーボールづくりに挑戦する参加者ら

11月2日

氷詰めして出荷 秋冬ブロッコリー出荷開始

そうま地区管内では、年末にかけて秋冬ブロッコリーの出荷ピークを迎えます。同地区の2023年度の販売高は、22年度の販売実績を約2千万円上回る約1億2千万円を計画しています。

集荷された秋冬ブロッコリーは、鮮度を保持したまま出荷するために氷詰めし、県内をはじめ、北海道や関東方面を中心に出荷します。

▲出荷作業の様子

11月6日

JA支援事業活用「ざる菊の丘」

本宮市高木地区で遊休農地を活用した「ざる菊の丘」が見頃を迎えました。増子安さん、川名和弘さん、川名勝典さんは、ざる菊30a、約1,600本を栽培しています。今年で4年目を迎え、2023年度は8種類を栽培。「令和5年度JAふくしま未来地域くらし活動支援事業」を活用しています。

地域のボランティアグループ「もう一花咲かせ隊」のメンバー21人がざる菊を管理し、23年度からは「もう一花咲かせよう協力金箱」の設置も始めました。

▲もう一花咲かせ隊のメンバーら

11月9・15日

地域一丸となり守ろう！

くだもの盗難防止広報パトロール

北信支店は11月9日、りんご「サンふじ」の最盛期を迎え盗難防止広報パトロールを行いました。北信地区一丸となって、農家が手塩にかけたりんごを守ります。北信地区防犯指導隊やJA農振協議会・果樹専門部会、JA役職員など約30人が参加しました。

福島北警察署署員は「パトロール中、不審な人物を見かけたら、慌てず、特徴を記憶し通報してほしい」と話しました。

▲りんごをパトロールする北信地区防犯指導隊

飯坂東支店は11月15日、最盛期を迎えるりんご「サンふじ」の盗難防止広報パトロールの出動式を行いました。湯野・東湯野防犯協会、福島北警察署、防犯指導隊、防犯レディース隊、農振会会長、生産者など関係者約30人が参加し湯野・東湯野地区のりんごを守ります。

湯野地区防犯協会の山田正夫会長は「自分の物は自分で守るという気持ちでパトロール地域の防犯強化に努める」と話しました。

▲りんごをパトロールする湯野・東湯野防犯協会

11月7日

組合員に寄り添った支店づくり

原町西支店竣工式

原町西支店の竣工式を開催し、関係者約40人が出席しました。旧支店は、1986年9月に建設しましたが、2011年の東日本大震災、21年・22年の福島県沖地震の被害や建物の老朽化により建て替えが決まりました。新支店は、待合スペースを広くすることで、来店客が窓口の待ち時間にゆったりと過ごせるよう設計しました。

関係者は待合スペースにてテープカットを行い新支店の建設を祝いました。

▲テープカットを行う関係者ら

11月8日

菅野孝志前全中副会長

退任慰労会

飯坂温泉摺上亭大鳥で全国農業協同組合中央会副会長理事を歴任した菅野孝志さんの退任慰労会を開き、関係者約90人が出席しました。慰労会には妻の弘子さんも出席し、女性部福島地区松川支部の大竹カツ子さんが生けた「農の生け花」が飾られ会場を彩りました。

菅野さんご夫妻へ発起人代表の数又清市組合長をはじめとした出席者から労いの言葉や記念品・花束の贈呈を行いこれまでの功績をたたえました。

▲花束を受領する菅野さんご夫妻㊥

10月20日

冬の味覚

せり出荷開始

▲せりを収穫する遠藤副組合長

管内では冬の味覚「せり」の出荷が始まり、そうま地区では、今年度5トンの出荷を計画しています。

相馬市でせり50aを栽培する相馬せり組合の遠藤明朗副組合長のせり田では、収穫から選別、箱詰め作業まですべて手作業で手掛けており、最盛期には1日25箱を出荷しています。遠藤さんは「今年は猛暑だったが適切な対策で生育は良好。ぜひセリを食べて季節を感じてほしい」と話しました。せりの出荷は1月中旬まで続く見込みです。

11月16日

県知事賞に村上弘さん

令和5年度福島地区農産物品評会

令和5年度福島地区農産物品評会表彰式をJA本店で行いました。

福島県知事賞に輝いた村上弘さん（果実の部・サンふじ）、福島市長賞の梅宮照彦さん（そさいの部・きゅうり）、島貫徳和さん（花卉の部・ダリア）、川俣町長賞の高橋邦男さん（そさいの部・チェリートマト）らを表彰しました。

11月15日の審査会では、量目や形状、新鮮度などの比較審査を行い、出品総数256点から65点の受賞作物が選出されました。

▲県知事賞を受賞した村上弘さん

11月9日

小学生が介助犬について学ぶ

はたらくワンワンランド！

当JAとJA共済連福島は、半田醸芳小学校で「ガンバレ介助犬!! JA共済　はたらくワンワンランド！」を開催し、3・4年生29人に、介助犬の役割など実演を交えて教えました。

介助犬の説明では、日本介助犬協会の後藤優花さんと渡邊真子さんが講師となり、紙芝居で介助犬の役割を読み聞かせしました。介助犬のリンゴちゃんによるデモンストレーションや代表の児童4人が、介助犬に指示を出す実演をしました。

▲介助犬に指示をする児童

10月19日

畳に親しむ

ミニ畳づくり

女性部伊達総合支部は、JA伊達総合支店でミニ畳づくり工芸教室を開催し、部員10人が参加しました。講師には、橘内畳店の「ものづくりマイスター」の資格を持つ橘内直也さんを招き、部員にものづくりの楽しさを伝えました。

参加者らは橘内さんの指導の下、自分好みの畳表と畳縁を選び、畳づくり用の道具を使用し製作しました。参加した部員からは「自分だけのミニ畳ができてよかった。ミニ畳を家に飾りインテリアとして楽しみたい」と話しました。

▲デザイン選びに夢中になる参加者ら

JA全農福島からキャンペーンのお知らせ

福島県内JA限定

発酵鶏ふん入り肥料
エコマスター
買って得するキャンペーン

国内肥料資源の利用拡大プロジェクト
JA全農福島は、国内肥料資源の利用拡大に賛同しています

対象肥料お買い上げで県内175名様に豪華景品をプレゼント！

応募方法

最寄りの営農センター・資材センターに備え付けの応募はがきに必要事項を記載のうえ、郵送ください。

対象期間　2023年12月1日㈮～2024年5月31日㈮

対象商品

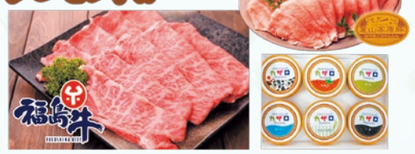
エコマスター水稲077

エコマスター水稲一発555

エコマスター園芸823

福島牛 25名様　麓山高原豚 50名様　カザロジェラート 100名様

県内で合計175名様にプレゼント!!



発送日　2024年7月

お問い合わせ先　エコマスター買って得するキャンペーン事務局
TEL：024-572-6404（土日祝日を除く10：00～17：00）

ベッカク担い手直送企画予約キャンペーン

水稲用初・中期一発処理除草剤
ベッカク®
1キロ粒剤　豆つぶ250　ジャンボ

申込期日
2024年2月29日㈭

対象商品をご予約の方から先着100名様にオリジナルキャップをプレゼント！

※画像はイメージです

対象商品

水稲用初・中期一発除草剤ベッカク担い手直送企画
- 粒剤　4ha分 40kg
- ジャンボ　4ha分 10kg
- 豆つぶ250　4ha分 10kg

応募方法

最寄りの営農センター・資材店へ予約注文書をご提出いただき応募用紙に記入し担当者へお渡しください。応募用紙と引き換えにキャップをお渡しいたします。

メガ得

詳細につきましては、各地区の営農センター・資材店にお問い合わせください。

JAグループ 農協 全農 経済連

自然に学び 自然を守る
クミアイ化学工業株式会社

FARMING INSTRUCTOR

営農指導員紹介

NO.10

今日も、生涯の一日なり

本宮営農センター　白沢地区担当

矢吹（やぶき）賢太（けんた） さん（34歳）

営農指導員歴12年目。
担当農畜産物は野菜、水稲。
得意なこと：フォークリフトの運転

生産者や先輩指導員の知識・技術を盗んで覚えることを心掛けています。分からないことや初めて見ることも多いので、その都度見聞きして自分のスキルを磨いていきたいです。

生産者の方々に頼られる時が一番仕事のやりがいを感じます。生産者との交流を大切にして、多くの労力をかけて作った作物を1日でも長く、1円でも高く販売できるように指導していきたいです。

後輩の職員も増えてきているので、尊敬されるような指導員になりたいです。農業は簡単ではないので、これからも教えてもらう立場なのですが、自分が培ったスキルや交流関係を後輩に繋ぐことも役割だと考えています。

生産者にお願いされたことや質問されたことに対して、正確に的確に素早く答えられるように心掛けていきます。

今月の農畜産物　Broccoli

ブロッコリー

ブロッコリーは、地中海沿岸原産のケールから発達したもので、イタリアで改良され、ヨーロッパに広がりました。茎も食べることができます。茎は、厚めに皮をむいて薄く切ってから塩茹でや炒め物にすると、ホクホクしておいしくいただけます。

新鮮なブロッコリーは洗いにくいので水にたっぷりつけてふり洗いしましょう。

JAふくしま未来

「農業者のための インボイス制度対応セミナー」

参加費無料

定員
各会場　約30名

日時　2024年1月22日(月)
午後１時30分～４時

申込締切　2024年1月9日(火)
定員になり次第終了

場所
- 北信支店（メイン会場）
  福島市鎌田字久保田21-3
- 伊達地区本部3階大会議室（テレビ会議）
  伊達市保原町七丁目33-3
- 安達地区本部3階大会議室（テレビ会議）
  本宮市本宮字戸崎41
- そうま地区本部3階大会議室（テレビ会議）
  南相馬市鹿島区横手字川原185-1

対象者

組合員（農業法人、集落営農、認定農業者等）

目　的

農業法人並びに農業者の税務支援のため、消費税申告制度（インボイス制度）導入にかかる税務知識の習得を目的として開催します。

講演　「消費税軽減税率制度および インボイス制度への対応について」

講師紹介

全国農業協同組合中央会営農・担い手支援部担い手支援課
栗山賢陽税理士事務所

栗山（くりやま）　賢陽（のりあき）　氏

会計資格系専門学校講師および会計事務所勤務を経て、2013年に栗山賢陽税理士事務所を開設。個人や中小企業の税務を手掛けるほか、14年よりJA全中と契約。農業税務に関する各種研修会や全国から寄せられる農業税務相談に対応。

お問い合わせ・お申し込み先　各地区営農企画課

福島地区	TEL：024-554-5532	伊達地区	TEL：024-575-0114
安達地区	TEL：0243-33-2739	そうま地区	TEL：0244-67-2702

農業用ハウスの雪害対策

東北地方3ヶ月予報によると、12月・1月は東北日本海側では平年と同様に曇りや雪または雨の日が多いでしょう。東北太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。雪が降る前に必ずハウスの点検を行い、部材の更新や補強対策に万全を期し雪害に強い農業経営を実現しましょう！

事前対策

日頃の点検・補修等
1. ハウス各部を点検し、補修等を行います。
2. 筋交い等の緩みを点検します。
3. 中柱、つっかえ棒、ワイヤー等で補強します。

積雪防止・融雪対策等
1. ハウス周囲に排水路を掘るなど融雪水の排水対策を行います。
2. 雪の滑落を妨げる遮光資材をはずします。
3. 外張りフィルムのたるみをなくし破損箇所を修繕します。
4. 作物を栽培していないハウスの被覆資材を除去します。
5. サイド被覆の巻き上げは完全に下ろさずスソぎりぎりで止めます。（完全に下ろすと積雪で開けられなくなる場合があります）

除雪
1. 積雪時は、早めに雪下ろしをします。
2. ハウス側面の除雪を徹底します。
3. ハウスの片側に積雪が偏らないように除雪します。

事後対策

1. ハウス各部の損傷や緩み等を点検します。
2. 室温の確保に努め、低温障害を防止します。
3. 降雪後晴れたときには、換気に注意します。

米全量集荷運動実施中

保有米などの数量を確認し、余剰米がありましたら、是非 JA へ全量出荷していただきますようお願い申し上げます。
出荷の際はお近くの営農センターにお問い合わせください。

福島市産のユズの出荷時にはご確認ください!!

福島市産のユズを出荷・販売・譲渡するためには、以下の条件が必要となります。

- **県及びJA職員による各生産園地の確認**を受けます。
- **緊急時モニタリング検査を実施**します。
- **県の管理する生産者リストに掲載**します。
- その上で、**リスト掲載の生産者は、出荷・販売前に自主検査を実施し、「ユズ（栽培）福島市」と出荷物等に表示し、栽培ものであることや原産地を明らかにします**。

詳細については、問合せ先までご連絡ください。

〈問合せ先〉　福島県県北農林事務所農業振興普及部　　電話 024(521)2609

JAの農業振興支援事業を活用

JAでは、2億円の予算を確保し、農業振興支援に取り組んでいます。事業を活用し農業所得が上がった事例を紹介します。

農業所得アップ優良事例

取り組み R4対R5（%）
販売数量：269.7%、販売額(合計)：272.8%

事例データ

対象生産者
そうま地区
キュウリ生産者

栽培品目・面積
キュウリ・7a

項　　目	内　　容
活用した支援事業	園芸用パイプハウス新設支援
事業活用前の課題	既存のパイプハウスを更新したいと考えていたが、物価高騰の影響もあり費用に負担を感じていた。
取り組んだ方策	農業振興資金を活用し、ハウスの更新と新たにキュウリ栽培を開始することで費用の負担軽減とキュウリ栽培による所得増加によりパイプハウス更新費用の早期回収に取り組んだ。
令和3年実績 販売数量・販売金額（取組み前）	実績なし。
令和4年実績 販売数量・販売金額（取組み後）	2,027Kg・687,531円(令和４年度ハウス完成後７月下旬定植により)　令和５年度　5,467Kg・1,875,723円
費　　用	パイプハウス（3間×18間 2棟）資材費2,016,772円のところ、JA助成により1,016,772円で導入。
取り組み後の成果	パイプハウスの更新費用の軽減を図ることが出来た。また、所得率を60％とし2ヵ年合計で1,537,952円となり早期回収を達成することが出来た。
農家コメント	部会への加入により、定期的に指導もいただけており、また、機械共選利用で出荷調整の作業手間を省けているので大変助かっております。これから、地域でのキュウリ栽培農家が増えることを期待しております。
担当営農指導員コメント	栽培初年度から機械共選を利用し、出荷調整作業の時間・労力も軽減されています。今後も振興資金やJA事業を上手く活用して所得アップを目指していただきたいと思います。

販売情報

和牛・乳牛 せり情報

■JAふくしま未来実績（開催日／11月7日・8日）　単位：円（税込）

性	成立	平均価格	最高価格	最低価格	体重	kg単価	判断	前月価格	前月比
雌	64	518,306	773,300	223,300	298	1,739	293	434,451	83,855
雄	1	199,100	199,100	199,100	144	1,383	277	0	0
去	90	618,420	1,054,900	242,000	321	1,927	287	513,136	105,284
計	155	574,377	1,054,900	242,000	311	1,847	289	476,488	97,889

■福島県家畜市場（開催日／11月7日・8日）　単位：円（税込）

性	入場	成立	平均価格	最高価格	最低価格	体重	kg単価	判断	前月価格	前月比
雌	286	1	504,031	1,084,600	124,300	294	1,715	290	432,059	71,972
雄	1	1	199,100	199,100	199,100	144	1,383	277	0	0
去	386	386	618,784	1,178,100	231,000	321	1,930	286	533,288	85,496
計	673	673	569,395	1,178,100	124,300	309	1,843	288	489,337	80,058

■乳牛せり市場（開催日／11月21日）　単位：円（税込）

	成立	平均価格	最高価格	最低価格	体重	kg単価	前月価格	前月比
妊娠牛	–	–	–	–	–	–	385,000	-385,000
ＥＴ和雌	4	227,975	240,900	213,400	96	2,368	256,300	-28,325
ＥＴ和雄	5	282,040	334,400	249,700	105	2,681	262,272	19,768
乳雌牛	1	17,600	17,600	17,600	65	271	–	17,600
乳雄牛	14	35,828	66,000	1,100	67	537	39,325	-3,497
Ｆ1雌（スモール）	47	103,377	168,300	2,200	77	1,343	77,755	25,622
Ｆ1雄（スモール）	37	127,838	190,300	20,900	82	1,561	91,779	36,059

和牛・乳牛せり市場

ワンポイントアドバイス

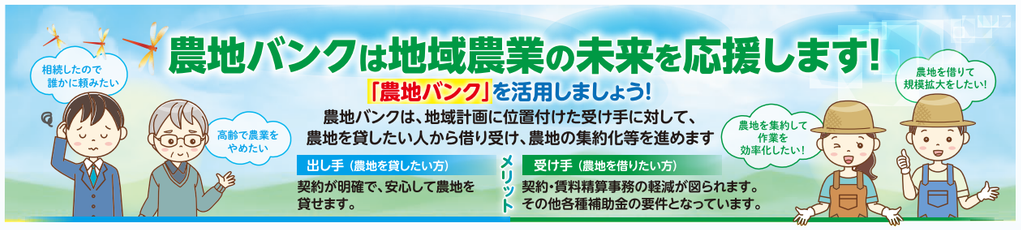
和牛子牛せり時の運搬は早めに。

和牛子牛せり運搬は、早めにお願いします。子牛が繋ぎ場にいないと子牛の確認や、遠方購買者の方が、十分に下見を出来ずにせりを迎えてしまい、せりに影響する可能性があります。これからの時期は、寒気の影響で道路事情も悪くなりますので、早めの運搬に心掛け遅くても8時30分までに運搬されるようお願いします。

農地バンク・市町村・ＪＡで担い手に農地を集積・集約

農地バンクは

地域農業の未来を応援します！



【お問い合わせ先】

市町村　担当部署		電話番号	地域マネージャー	電話番号
福島市	農政部　農業企画課　農業担い手係	024-525-3740	福島拠点（県北農林事務所駐在）	080-3754-3063
川俣町	農林振興課　農業振興係	024-566-2111（内線1503）		
伊達市	産業部　農政課　農業担い手係	024-573-5635	伊達拠点（伊達農業普及所駐在）	080-3754-3064
桑折町	産業振興課	024-582-2126		
国見町	産業振興課	024-585-2890		
二本松市	産業部　農業振興課	0243-55-5116	安達拠点（安達農業普及所駐在）	080-3754-3066
本宮市	産業部　農政課　農政係	0243-24-5385		
大玉村	産業建設部　産業課　農政係	0243-24-8107		
相馬市	産業部　農林水産課　農業振興係	0244-37-2147	相馬拠点（相双農林事務所駐在）	070-1582-6920
南相馬市	農地集積課	0244-44-6802		
新地町	農林水産課農林水産係	0244-62-2194		

※原子力被災 12 市町村の農地については、下記〈本社〉被災地域対策室までお問い合わせください

◆公益財団法人 福島県農業振興公社（農地バンク）

〈本社〉中通り・会津担当　TEL.024-521-9845　浜通り担当 TEL.024-521-9843
被災地域対策室 TEL.024-503-0421

携帯・スマートフォンはこちらから
http://fnk.or.jp/

JA担当部署		電話番号
福島地区	営農企画課	024-554-5532
伊達地区	営農企画課	024-575-0114
安達地区	営農企画課	0243-33-2739
そうま地区	最寄りの各営農センターまでお問い合わせください。	

JA生産部会紹介

安達地区 和牛繁殖部会

二本松市、本宮市、大玉村の和牛繁殖農家で構成され、7支部・部会員215名が所属しています。各支部の支部長が役員となり運営しています。

畜産を取り巻く情勢は、飼料価格の高騰などを受け子牛価格が下落しています。このような状況の中、牛の産肉能力の指標となるゲノミック評価に県内で最も早く取り組み、優良子牛生産に繋げています。

毎月開催される和牛子牛せりにおいて毎月100頭前後の子牛を出荷しています。

生産部会代表

部会長　斎藤正剛（岩代）
副部会長　佐藤善映（安達）
　　石橋広基（白沢）
会計　三瓶一美（大玉）
役員　高野一弘（二本松）
　　佐藤一男（東和）
　　遠藤義博（本宮）

重点取り組み事項

①子牛出荷目標頭数1，200頭
②ゲノミック評価を取り入れた和牛改良、後継牛のゲノミック評価推進
③県内外からの優良子牛の導入
④高齢牛・下位育種価の更新
⑤各種共進会への参加、支援協力
⑥全国和牛能力共進会に向けた牛づくり
⑦牛肉消費拡大運動の継続取組

部会長　斎藤　正剛さん

安達地区和牛繁殖部会は、各支部に優良子牛生産と部会員相互の親睦を図ることを目指し、事業計画に基づき活動に取り組んでいます。

2023年度全国肉用牛枝肉共励会に出品された牛の出生地を見ますと安達地区生まれの出品牛が6頭程出品されており、その中でも三重県からの出品牛が、最優秀賞日本一となりました。ゲノム検査による事業も取り組みから丸4年を迎え、その成果が徐々に現れていると感じています。肥育部会の皆さんと情報の共有を図り、日本一の枝肉が近い将来生産され、その素牛が当JAで生産された素牛となる未来が来ることを願います。肥育農家さんと顔の見える販売、信頼関係の構築が繁殖農家の経営に大きく影響を与えます。全国の肥育農家さんへハイレベルな素牛を購買頂けるよう切磋琢磨し改良に取り組んでいきます。

福島牛のはなし

福島牛とは、福島県内で飼育・生産された黒毛和牛です。色鮮やかで良質な霜降りを持ち、風味豊かでまろやかな味わいです。

盆地が多い福島県は夏冬の寒暖差が大きいため牛の飼料となる農作物が美味しく育ち、山脈からの伏流水も豊富です。気候・飼料・水と、牛の飼育に適した環境の中で、生後30か月前後まで飼料を管理しながら愛情込めて大切に育てています。

和牛繁殖部会　カレンダー

	栽培	生産部会活動
3月	定期和牛せり市（毎月）	各支部総会
4月		総代会
5月		
6月		
7月		
8月		
9月		JAふくしま未来肉用牛共進会
10月		JAグループ福島肉用牛共進会
11月		
12月		
1月		
2月		

和牛繁殖部会の皆さん

みらいろ 作品展
（順不同）

曳地 美雪さん（伊達市梁川町）

岡本 家子さん（南相馬市鹿島区）

橘 美知子さん（伊達市梁川町）

桑折 ツネ子さん（南相馬市原町区）

荒 操さん（南相馬市鹿島区）

荒 万希子さん（南相馬市鹿島区）

今村 久子さん（伊達市保原町）

紺野 幸子さん（南相馬市小高区）

野田 好子さん（伊達市保原町）

山田 ひで子さん（伊達市保原町）

ナデシコさん（福島市）

加藤 洋子さん（二本松市）

今野 廣子さん（南相馬市鹿島区）

佐藤 ヒサ子さん（伊達市保原町）

佐藤 静子さん（伊達市保原町）

山田 ひで子さん（国見町）

浅野 不二男さん（桑折町）

木谷 美喜子さん（伊達市保原町）

鈴木 キミエさん（伊達市梁川町）

鈴木 美江子さん（伊達市梁川町）

松坂 義秀さん（南相馬市原町区）

宍戸 フミさん（桑折町）

作品募集中

絵手紙、短歌、俳句、川柳の作品を募集いたします。
住所・氏名（ペンネーム可）・年齢・連絡先を明記の上ハガキまたは封書にて、お送りください。また、「みらいろ」を見てのご意見、ご感想もお待ちしております。
応募締切は12月14日（木）必着です。
※締切に間に合わなかった方は、次月号で紹介させていただきます

短歌、俳句、川柳にご応募の方は、作品の種類をご明記ください。

〒960-0185　福島県福島市北矢野目字原田東1-1
JAふくしま未来「みらいろ作品展」係

ご応募いただいた作品は、JAの農産物直売所で掲示させていただきますので、あらかじめご了承ください。

大町 久子さん（伊達市保原町）

大槻 純子さん（桑折町）

短歌・俳句・川柳

短歌

野も里も黄色一面はびこりて
泡立草の天下となりぬ
田中 里子さん（南相馬市原町区）

錦秋の安達太良山に見守られ
今日も集えりグランドゴルフに
佐久間 喜夫さん（二本松市）

痛ましきニュースに一瞬光り差す
暑さに負けぬ米の朗報
大内 由美子さん（南相馬市鹿島区）

鮮やかに秋の会津路もみじ色
檜原湖水にはるか写して
平田 一さん（南相馬市原町区）

敬老会マスクはずせぬもどかしさ
声かけようかしばしとまどう
二瓶 久子さん（福島市）

友の庭こんもり赤くコキアあり
夜に空飛ぶ魔女の箒か
渡辺 陽子さん（福島市）

クレマチスうすむらさきの花一輪
秋の陽気に狂い咲なり
高橋 己知子さん（二本松市）

八十路とて夢を育むレクダンス
発表会で皆はつらつと
宍戸 マリ子さん（福島市）

支えあい支えられての五十年
過ぎし日は夢よき日ばかりの
森谷 悦子さん（福島市）

混迷に兎跳んでも迷い道
未知の未来を辰に託して
渡辺 絹子さん（福島市）

美味しいと田舎料理を誉められて
傘寿女の出番ありかな
今井 知子さん（二本松市）

忘れない忘れないこと一つだけ
晩酒だけまだ忘れない
渡辺 清幸さん（本宮市）

俳句

おまつりマンボ皆と踊りし敬老会
大槻 伊津子さん（二本松市）

柿不作澄きり空にちらほらと
深澤 隆利さん（桑折町）

目を奪う色鮮やかにナナカマド
志賀 方次さん（南相馬市原町区）

晩秋に背なを押さるる老いの坂
小田 慶喜さん（明石市）

風の中孫の手を振る鰯雲
小田 和子さん（明石市）

黄金の稲穂に真赤に色映え彼岸花
佐久間恵美子さん（二本松市）

仏壇におはぎ供える彼岸かな
夏山 繁樹さん（福島市）

リハビリの窓にかげさす秋あかね
安藤 直子さん（南相馬市鹿島区）

霜月に夏日の気温温暖化
阿部 勝香さん（福島市）

夕焼けに見とれ雄大安達太良嶺
野地 美和男さん（二本松市）

しもづきに庭に咲き見る百合の花
富田 タツ子さん（南相馬市小高区）

くる年も良い年でと願つつ
梅村 チヨさん（南相馬市小高区）

新米と表記ラベルに産地顔
富田 直子さん（水戸市）

川柳

香りよし新米福笑い味も良し
佐藤 良子さん（本宮市）

人慣れした熊は戸を開けこんばんは
菅井 昭子さん（国見町）

忘れない忘れないこと一つだけ晩酒だけまだ忘れない
渡辺 清幸さん（本宮市）

労苦にも耐えた女房に金メダル
宮川 公さん（伊達市保原町）

相農の門に朝夕空カバン
清水 義宏さん（相馬市）

同級会年輪刻み古希のかお
遠藤 ゆうこさん（二本松市）

青虫が野菜の芯に舌鼓
三瓶 久二子さん（本宮市）

月の夜夫の影踏まぬ散歩路
あーちゃんさん（飯舘村）

朝仕事新聞よんで学まなぶ
須賀 深子さん（伊達市保原町）

思い立つ記憶の糸を探る旅
平間 勝成さん（南相馬市原町区）

新米だ昭和おやつみそむすび
朽木ミツ子さん（桑折町）

そよそよとやさしくゆれるコスモスよ
今野 純子さん（新地町）

留守番の老婆の耳はやや遠く
吉田 ユキさん（二本松市）

朝さんぽ前をよこぎる野うさぎか
加藤 ハルエさん（二本松市）

一〇ミリのメダカパワーに背を押され
鴫原 美智子さん（二本松市）

夏の草退治できずに秋なかば
市山 カツエさん（国見町）

初氷尻餅ついてお祝いか
佐野 敏雄さん（伊達市梁川町）

おどろいてなんでもないよわたしいう
こうくん（福島市）

お昼寝のぬくもり残し孫帰る
遠藤 陽子（伊達市梁川町）

暑かった木陰を探り一呼吸
志賀 美恵子さん（郡山市）

これからは一人住いに早く馴れ
引地 茂さん（南相馬市原町区）

外国で戦争悲劇想いは日本
藤原 實さん（南相馬市原町区）

近頃は携帯遊び友いらぬ
藤原 和江さん（南相馬市原町区）

山芋を掘り上げた人これ強靭精神なり
三浦 良一さん（南相馬市原町区）

梨産地戸数激減びっくりだ
太田 三秀さん（南相馬市原町区）

高山に流れ星落ち火事と騒ぎたて
藤原 幸雄さん（南相馬市原町区）

テレビでも料理者素手は不衛生
藤原 元気さん（南相馬市原町区）

阪神勝つ七十ファン又ファン
デクノ坊さん（南相馬市原町区）

左ひざ痛むが右も同い年
山本 松太郎さん（本宮市）

にぎわいで先祖喜ぶ寺マルシェ
笠原 富美子さん（福島市）

元気にすくすく みらいっ子

福島地区

いつまでも仲良し三兄弟でいてね!

野田支店
紺野　靖さん、
加奈子さんのお子さん

大地（だいち）くん（8歳）　雄志（ゆうし）くん（11歳）
壮汰（そうた）くん（5歳）

安達地区

色んな所に遊びに行こうね。

安達支店
佐久間 直樹さん、
愛さんのお子さん

零（れい）くん（3歳）

そうま地区

ニコニコと健やかに育ってね!

中村みなみ支店
熊倉 雅人さん、
亜美さんのお子さん

仁瑚（にこ）ちゃん（4ヶ月）

伊達地区

みんなで仲良く遊ぼうね♡

保原総合支店
伊藤 カヨさんのひ孫さん

心晴（こはる）ちゃん（5歳）　蒼介（そうすけ）くん（3歳）
寛大（かんた）くん（2ヶ月）

自己改革 vol.69

只今、実践中!!

「ど真ん中に“食と農”、次代につなぐ地域づくり」

～ 不断の自己改革へさらなる挑戦 ～

『購買担当者ロールプレイング大会』開催!

組織基盤強化戦略の一環として「人づくり戦略」を掲げ、人材育成基本方針に基づく職員研修をおこなっております。今回、購買担当者を対象としたロールプレイング大会を福島市の北信支店で開催しました。管内４地区で行われた予選会から勝ち上がった購買店舗窓口担当者８チームが出場しました。

大会では、除草剤散布の相談で来店した組合員への対応を想定しての実演で、利用者の状況に合った除草剤の提案を日頃の業務で培われた知識を活用し披露しました。

各チームともレベルの高い接客対応力を発揮した結果、最優秀賞・優秀賞ともそうま地区のチームが受賞となりました。12月に開催される福島県大会にはこの２チームが出場する予定となっており、上位入賞を目指します。

最優秀賞

原　亨・菅野義紀チーム（そうま地区）

優秀賞

酒本 翼・荒 昌司チーム（そうま地区）

未来への心をつなぐパートナー “農をはぐくみ 地域をつなぐ” みなさまの評価・応援が私たちの力になります！

アグリ塾へ参加しました！

研究室探訪 vol.22

11 月 11 日に、新ふくしまファームで JA さん主催の第３回みらいろアグリ塾に参加してきました。今回は、スーパーボール作りで子供たちと楽しく科学実験をした後に、大豆とじゃがいもの収穫をしました。じゃがいも堀りや大豆の収穫をするのは初めてというお子さんもおり、収穫の面白さを学べるいい機会になったと思います。収穫の後は、芋煮と新米を参加者の皆さんと一緒に頂きました。新米は、私たちが先月手刈りをしたお米です。とてもおいしいとお褒めの言葉をたくさんいただき、農業のやりがいを感じました。今回参加してくれた皆さん、ありがとうございました！次回は、来年１月に豆腐作りです！

皆様良いお年をお迎えください。来年もサイエンスカフェをよろしくお願いいたします。

直売所ナビ Farmer's Market

ここら清水店

福島市南沢又字前田7-3
TEL 024-555-6641
営業時間／9:00～17:00

現在は、冬の味覚「凍み豆腐」や「凍みもち」も販売しておりますので、ぜひご賞味ください。

チーフ 宍戸 公代

ここら清水店は、福島市南沢又にあり、2000年にオープンしました。地元の生産者が生産した農畜産物や加工品などたくさんの商品を取り揃えています。

管内のりんごは「サンふじ」が主要品目で、冬の寒さで蜜が入りやすい果物です。オススメレシピは「りんごサラダ」。塩昆布やチーズの他、わさび菜、ルッコラを加え栄養価もしっかりとれる一品です。

βカロテンや食物繊維が豊富に含んでいるニンジン。乾燥に弱いため、キッチンペーパーに包み、ビニール袋に入れて冷蔵庫に立てて保管しましょう。

トマトを調理する際、種の周りのゼリー部分も使用することでうま味成分を逃がさず、よりおいしく料理が仕上がります。オススメレシピは「あったかトマトのカプレーゼ」。寒くなるこの時期にぴったりな料理です。

りんごサラダ

YouTubeにて動画配信中!!
「みらいろチャンネル」 検索
チャンネル登録お願いします♪

イベント情報 2023 12月

ここら

ここら歳末市
12月20日㈬～24日㈰
14時閉店
12月30日㈯
年末年始休業
12月31日㈰～1月4日㈭

火曜日　市場仕入品特売
水・木曜日　乳製品特売日
金～日曜日　肉の日、新米販売キャンペーン
7のつく日　納豆の日

みらい百彩館 んめ～べ

岩手県産フェア
12月9日㈯
青果市場販売（日付変更の可能性あり）
12月10日㈰
あんぽ柿まつり
12月16日㈯～17日㈰
クリスマスイベント
12月23日㈯～24日㈰
歳の市
12月28日㈭～30日㈯
定休日
12月31日㈰

月曜日　んめ～べの日
火曜日　牛乳の日
　　かつ丼の日
水曜日　卵の日
木曜日　お米の日
　　おにぎりの日
金曜日　お肉の日
土曜日　お魚の日
ゼロのつく日は納豆の日
8のつく日はパンの日

こらんしょ市

焼きいもまつり
12月9日㈯～10日㈰
納豆の日
12月10日㈰
こらんしょ市の日
12月15日㈮～16日㈯
あんぽ柿まつり
12月16日㈯～17日㈰
歳末セール
12月16日㈯～30日㈯
クリスマスフェア
12月23日㈯～24日㈰
月末の市
12月28日㈭～30日㈯

14時閉店
12月30日㈯
年末年始休業
12月31日㈰～1月4日㈭

月曜日　こらんしょ市惣菜の日
火曜日　牛乳の日
水曜日　卵の日、
　　A-coop商品特売日
木曜日　焼いもの日
金曜日　お肉の日
土曜日　豆腐工房の日
日曜日　お餅の日

旬のひろば

歳末感謝祭 12月27日㈬～28日㈭　毎週土日 週末特選品特価販売

はじめよう 健活

脳トレ！ 手足の体操

指先マラソンで脳への血行を促進

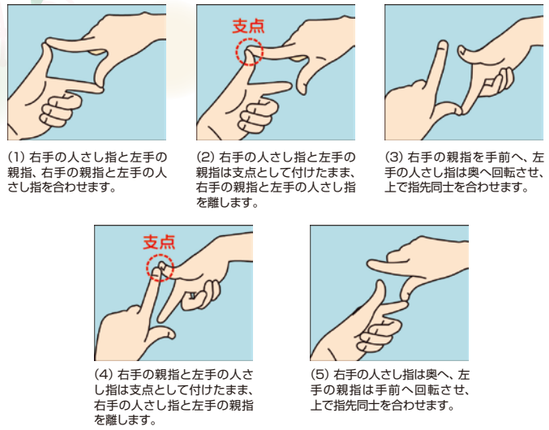
健康生活研究所所長　堤　喜久雄

寒い季節は外に出るのもおっくうになりがちです。活動不足を補うためにも、効率良く短時間で血行を促進できる体操をご紹介します。

手首も回転させ、指先をこすり合わせながら動かします。脳の血流をアップさせ、創造力や記憶力も高める効果が期待できます。

繰り返し行う習慣を身に付け、脳の若さを保ちたいですね。ゆっくりで構いませんので、正確な動作を心がけましょう。慣れてくると楽に動かせるようになりますよ。

いずれかの指先を合わせる（1）～（5）の動きを５回繰り返します。



(1) 右手の人さし指と左手の親指、右手の親指と左手の人さし指を合わせます。

(2) 右手の人さし指と左手の親指は支点として付けたまま、右手の親指と左手の人さし指を離します。

(3) 右手の親指を手前へ、左手の人さし指は奥へ回転させ、上で指先同士を合わせます。

(4) 右手の親指と左手の人さし指は支点として付けたまま、右手の人さし指と左手の親指を離します。

(5) 右手の人さし指は奥へ、左手の親指は手前へ回転させ、上で指先同士を合わせます。

ポイント
１セット５秒程度の速さで練習し、少しずつ速く動かしてみましょう。

なくそう食品ロス

家庭で最も捨てられる食品は？

食品ロス問題ジャーナリスト　井出　留美

家庭で最も捨てられる食品は野菜です。農林水産省や自治体、民間企業など、さまざまな組織が調査を行ってきましたが、野菜が家庭で捨てられやすい傾向にあることは間違いありません。

では、どうすれば捨てないで済むのでしょう。さまざまな解決法があります。①買い物前に冷蔵庫の野菜をチェックする ②買い物メモを作る ③レタスやキャベツを丸ごとではなく、2分の1個、4分の1個買う ④買った野菜を切って冷凍保存するなど……。

私がやっている対策の一つが市販の野菜保存袋を使うことです。

毎朝、青菜のスムージーを作るので、繰り返し使える、プラスチック製の緑色の野菜保存袋に青菜を入れています。

一度、チンゲンサイで実験したことがあります。そのまま野菜室に入れた場合と、野菜保存袋に入れた状態で野菜室に入れた場合と、1カ月保存したらどう違うのか。

そのまま入れた場合はミイラのように乾燥してしまい、使いものにならなくなってしまいました。一方、野菜保存袋に入れた方は、葉っぱの数枚は黄色くなってしまったものの、1カ月たっても根っこの水分が失われておらず、そのまま使うことができました。

保存袋は、なぜ保存性が高くなるのでしょう。野菜は、そのまま置いておくとエチレンガスを放出し、これが劣化の原因になりますが、市販の野菜保存袋はこれを吸着してくれるのです。袋の中に水分がたまるのも劣化の要因になりますが、水分が付きづらい仕組みになっています。

繰り返し使えるプラスチック袋に加えて、100％オーガニックコットン製の野菜保存袋も併用しています。米国在住の女性が、食料品店で余った野菜を使ってインクを作り、このインクを使って、袋の表面に野菜や果物のイラストを描いています。彼女が、私の著書の表紙を印刷した保存袋を特別に作ってくれたこともあるんですよ。

34

ドローンで見るふくしま未来

福島地区（福島市）

文知摺観音・普門院

かつてこの地は、綾形石（あやがたいし）の、自然の石紋と綾形、そしてしのぶ草の葉形などを摺り込んだ風雅な模様の「もちずり絹」の産地でした。

この地を訪れた松尾芭蕉も、奥の細道の中で、この文知摺石を前に一句したためています。多寶館や観音堂など、古来の縁を語る多くの文化財が残されており、多くの人が訪れています。

ホームページで動画もご覧いただけます。
https://www.ja-f-mirai.or.jp/link/?drone
JAふくしま未来 ドローン動画集　検索

YouTube みらいろチャンネル

みらいろチャンネルでは
- 組合長のあいさつ動画
- J-FAPと女性部の「かぁちゃん直伝料理」
- ドローンによる管内のスポット紹介
- 直売所ナビ
- 農作物の栽培技術動画

などを毎月配信！

チャンネル登録はこちらから

LINE公式アカウント

毎週木曜日配信
管内の農産物直売所やJA事業所でのイベント情報・お買い得情報をいち早くお知らせします！

友だち登録はこちらから

JAふくしま未来・福島地区

2023年 きもの祭り

2023年12月
21日(木)・22日(金)・23日(土)
PM1:30 PM5:00　AM9:30 PM5:00　AM9:30 PM3:00

ところ　北信支店2階 特設会場
福島市鎌田字久保田21-3

バウムラリー

会場内の各ブースを回ってバウムをゲットしよう！

特別企画　女性部・福島地区「みんなのSDGs賞」受賞記念

きもの交換会 開催！

こんなお悩みございませんか？

- ☑ 家のタンスに全然着ていない着物がある。
- ☑ 体型が変わって着られない着物がある。
- ☑ 私は着ない着物があるけど、娘に着物を新調してあげたい。
- ☑ 直して着るより新品の着物がほしい。
- ☑ 派手な着物より、もう少し落ち着いた着物がほしい。など

他店でお求めになった品、破損、汚れがあってもOK！交換いたします。

そんな不用な着物を期間中会場へお持ちください！

今回、協賛して頂く問屋さんのご協力のもと、貴女のご不用になった着物とお好きな新品着物（表地）を交換します！
「訪問着」「色無地」「小紋」の中からお選びください。
※裏地、仕立て代等は別途となります。

お一人様1点の交換とさせて頂きます
※転売防止・お仕立て屋さん救済のため、お仕立てをご用命頂ける方に限り交換いたします。

三世代交流パーティー
2024年2月7日（水）
新しいお着物で参加してみては、いかがでしょうか？

振袖はいつでも指定店（美ふく）にてご覧いただけます。お気軽に各営農センターへお問い合わせください。

※掲載されている商品写真は、イメージです。

お知らせ

クロスワードパズル

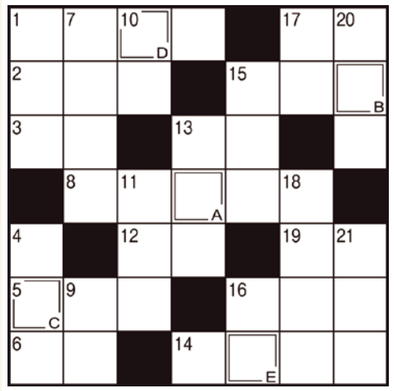
二重マスの文字をA～Eの順に
並べてできる言葉は何でしょうか？

ヨコのカギ

1　おせち料理にも使うニシンの卵巣の加工品
2　旅行前に――ブックを買った
3　俳人が名作を生み出した地に建てられていることも
5　北を向いたとき西になる方向
6　丁寧にいうとご飯です
8　横綱を先導して土俵に上がります
12　セイウチの口からにょっきり
13　農地――、道路交通――
14　DNAが含まれる体の設計図。――操作
15　猫が中で丸くなっているかも
16　不要物を可燃、――、資源ごみに分別した
17　彼女は――を言わせず彼を外に連れ出した
19　エレベーターの表示では「B」

タテのカギ

1　大学入学共通テストの理科の科目の1つ
4　キウイやポンカンの生産量が日本一の県
7　エッセーともいいます
9　かつお節や昆布で取ります
10　ガラガラとうがいをして洗うもの
11　ゆでた麺をざるにあけて行います
13　大股の人は広めです
15　カメやカッパの背に付いています
16　――や硯（すずり）を用意して書き初めをした
17　カラオケで楽しむもの
18　――の計は元旦にあり
20　旧暦1月の異称
21　見張ること。――カメラ

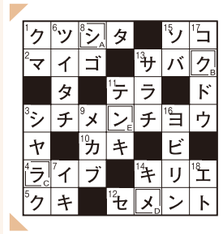


宛先　〒960-0185
福島県福島市北矢野目字原田東1-1
JAふくしま未来「広報誌クロスワードパズル」係

応募締切　12月25日（必着）

応募方法　官製ハガキに、①パズルの答え　②郵便番号　③住所　④氏名　⑤年齢　⑥職業　⑦電話番号　⑧JAや広報誌に関するご意見、ご要望、地域の話題等を記入の上、上記の宛先までご応募ください。

記載された個人情報は、賞品の発送以外の目的には使用いたしません。当選者の発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます。



正解者の中から抽選で「みらいろオリジナルグッズ」を10名様にお送りさせていただきます。

先月号の答え

シ(A)　ク(B)　ラ(C)　メ(D)　ン(E)

JAふくしま未来の概要

令和5年10月末現在

組合員数（正）	46,465人
〃（准）	46,862人
役員数　理事	51人
〃　監事	8人
職員数	1,068人
准職員数	245人
出資金	16,821百万円

事業実績

購買品供給高	7,617百万円
販売品販売高	22,717百万円
貯金高	774,619百万円
貸付金高	225,877百万円
長期共済保有高	2,443,179百万円

理事会報告

第8回理事会　日時／令和5年10月31日（火）
場所／JA福島ビル10階　1001会議室

■ 協議事項 ■

議案第１号　きゅうり選果設備の新設ならびに増設にかかる固定資産取得計画(案)について
議案第２号　令和5年産米概算金の追加払いについて
議案第３号　令和5年産米に係る水稲経営支援対策について
議案第４号　農産物検査業務規程の一部改正について
議案第５号　介護事業従事准職員就業規則の一部改正について
議案第６号　貸付業務規程の一部改正について
議案第７号　貯金業務規程の一部改正について

編集後記

今年一年、笑顔で写真に応じていただきありがとうございました。来年も元気な笑顔の皆さんを取材撮影できることを広報課一同楽しみにしています。
寒さが日に日に増しておりますので、体調管理にはお気を付けください。そして良い年末年始をお迎えください！（中野）

あなたもチャレンジ

家庭菜園

JAの営農担当者監修のもと、「これから野菜をつくってみたい！」と考えているみなさんに役立つ情報をお届けします♪

第10回は、「菜園の土壌管理～野菜の種類に合わせた土づくり～」です。

家庭菜園では多くの種類を栽培しますので、それぞれの特性に合わせた土壌管理が必要です。

step 01 連作と輪作

同じ土地に同じ野菜を連続して作ることを連作といいます。しかし、連作すると生長に障害が出る野菜があります。連作障害の原因は多様ですが、病害によるものが最も多く、次いで土壌の悪化によるものとなっています。

エンドウは一度作ると、7年は作れません。トマト、ゴボウなどは 5、6 年、インゲンマメ、サトイモなどは 3、4 年、キュウリ、ホウレンソウなどは 1、2 年です。カボチャ、タマネギ、サツマイモのように連作しても障害の出にくい野菜もあります（表1）。

同じ科に属する近縁な野菜は似た性質を持っているため、病害虫と肥料の吸収が共通しています。そのため、連作すると土に生息する病害虫が増え、微量でも必要な肥料成分が不足して生長を妨げることがあります。

そのため特性の異なる野菜を上手に組み合わせた一定の順序で作付け（輪作）をしましょう。

表1　野菜の休栽年数

連作障害の出にくい野菜		カボチャ、タマネギ、ニンニク、サツマイモ
休栽年数（目安）	1、2年	キュウリ、ネギ、ホウレンソウ、ラッカセイ、ジャガイモ
	3、4年	インゲンマメ、サトイモ、ナガイモ
	5、6年	トマト、ハクサイ、ゴボウ
	7年以上	スイカ、ナス、エンドウ

平野曉「作物の連作障害」（農文協、1985年）より引用、一部改変

step 02 野菜の適性酸度

雨が多い日本はカルシウム（石灰）やマグネシウム（苦土）が流れやすく、酸性土になりがちです。野菜の生育に適した弱酸性（pH6.0～6.5）とするためにカルシウムとマグネシウムを含む石灰資材を投入します。酸性土が改良されると土壌微生物の働きが活発となって、有機物の分解を早める効果もあります。

野菜の種類によっては酸性を好むものもあり、野菜の種類に適した酸度（pH）に調整することが大切です。ジャガイモ、スイカは pH5.0 ～ 5.5 でよく育ちます。一方、ホウレンソウ、タマネギは特に酸性に弱く、発芽してもしばらくすると枯れてしまいます（表2）。酸性土壌ではアルミニウムイオンが溶け出し、ホウレンソウなどの根を阻害するからと考えられています。

表2　酸性に強い野菜と弱い野菜（例）

種　類	酸性への適応性	pH（目安）
スイカ、ジャガイモなど	酸性に強い	5.0～5.5
インゲンマメ、スイートコーン、ダイコン、サツマイモ、サトイモなど	酸性にやや強い	5.5～6.0
キュウリ、トマト、ナス、エンドウ、キャベツ、ブロッコリー、ニンジンなど	酸性にやや弱い	5.5～6.5
ホウレンソウ、アスパラガス、タマネギ、ゴボウなど	酸性に弱い	6.0～7.0

藤原ら「新版土壌肥料用語事典」（農文協、1998）などより作成

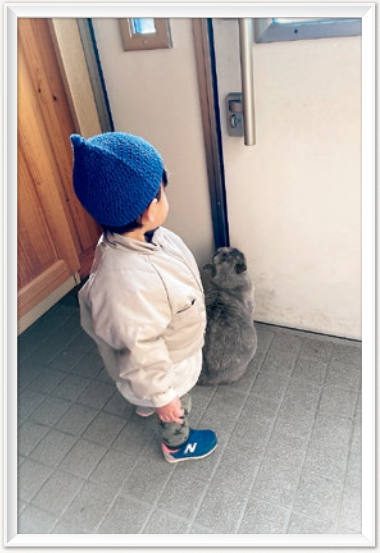
step 03 酸性土壌の矯正

土の酸度を調べる診断キット（図1）や、土に直接差し込んで測定する土壌酸度測定器があります。石灰資材を過剰に与えると微量要素の吸収を妨げる恐れがあるため、測定値に応じた石灰資材を施します。施用量は土壌の種類によって異なりますが、一般的に pH を 1 上げるには粒状の苦土石灰では 1 ㎡当たり 150 ～ 200g です。なお、石灰資材は窒素肥料や窒素分の多い堆肥と一緒に施すと、アンモニアガスが発生し、窒素分が逃げてしまいます。そのため石灰資材と窒素肥料を同時に与えてはいけません。種まきや植え付け 2 週間前に石灰資材をまいてよく土と混ぜておき、1 週間前に化成肥料と堆肥を施用します。

図1　土壌診断キット

※関東南部以西の平たん地を基準に記事を作成しています

園芸研究家●成松次郎



『散歩待ちの列』
伊達郡桑折町 いろくんママさん

散歩が大好きな２歳の息子と６歳の猫です。
開くのを待っている姿が可愛い！

『かくれんぼ』
伊達市保原町 凛ちゃんさん

先住猫のルル君とかくれんぼしているノエルちゃん
布団の入った袋に隠れています。ドキドキです。

みら★スタ
MIRA SUTA
MIRAIRO STUDIO

今月のテーマ
かわいい

『一緒に食べよ！』
二本松市木幡 ねこのここねこさん

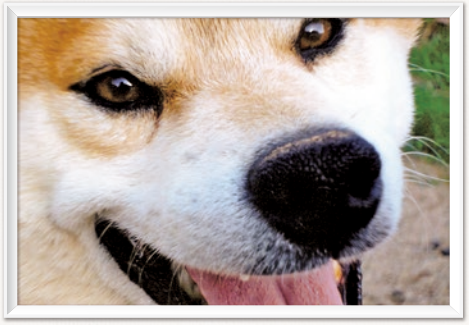
仲良しでかわいいです。

『あみぐるみ』
福島市大笹生 みーちゃんさん

小さくてかわいい、十二支を編みました。

次号
1月号のお題
冬
締切 2023年12月14日㈭

2月号のお題
愛



『ドヤッ』 福島市松川町 柴子さん

かわいいでしょ　この鼻！（W）

『すずめうり』 福島市松川町 すみこさん

かわいい実がいっぱいなりました。

投稿方法

読者の皆様から、テーマに沿った写真を募集しています。
郵送・Ｅメール・携帯写真メールの、いずれかの方法で撮影した写真をお送りください。

投稿大募集中♪
掲載された方には、JA６次化商品もしくは、オリジナルグッズをプレゼントします♪

便せん、またはメール本文に
❶氏名　❷ペンネーム　❸住所　❹電話番号　❺写真のタイトル
❻写真の簡単な説明（30 字程度）　を明記してください。

※メールの場合、件名を「みら☆スタ」にて送付ください
※一人１枚のみ
※写真は、概ね３ヶ月以内に撮影したものをご応募ください

紙面の都合上、掲載枚数には限りがございますがご了承ください。
投稿の際の個人情報は、広報誌への掲載並びに広報に関すること以外には使用いたしません。

宛先

郵送
〒960-0185
福島県福島市北矢野目字原田東1-1
JAふくしま未来 広報課「みら☆スタ」係

WEB
応募フォームへ必要事項を入力の上、写真を１枚添付しご応募ください。
右記ＱＲコードから「JAふくしま未来ホームページ」にアクセスしご応募ください。

JAふくしま未来
JAふくしま未来 広報誌 12月号
2023年12月１日発行

ふくしま未来農業協同組合
〒960-0185 福島県福島市北矢野目字原田東1-1
編集：改革推進部広報課
TEL 024-573-7121　URL https://ja-f-mirai.or.jp/

公式HP　Facebook　公式LINE　Youtube